

つながり便り

2023.3月号



地域共生空間のあれこれ 『畑編』



地域共生空間つながりの西側の窓から外を眺めると
ほかほか縁側と、小さな畑があります。

地域共生空間つながりがここうエルネスパークにできたのが2020年7月ですので、はや3年目に突入したというわけですが（この畑も然り）。
オープン後すぐに、一面サツマイモを植えていただきました。（いつもボランティアさんが色々考えて植えて下さいます。ご紹介は後ほど。）
約4か月後に、YPC保育園の子供達と無事たくさんのお芋たちを掘り当てることになりました。
収穫はとてもいい経験でした。寒い日も暑い日も水やりをしていたのですから、可愛い子供の成長を見守る気持ちでその日を迎えました。涙はありません(笑)。
ただただ、保育園の子供達が喜んでくれる姿を、目を細めて見つめていました。
『畑って、自然って、子供達の笑い声っていいな。』
『共生空間つながりにぴったりな時間だな。』
『共生空間つながりっていいな。』
そう感じたのを今でもはっきりと覚えています。

その時の気持ちと同じく変わらないもの・・・
ボランティアさんの優しさ
子供達の笑い声
働く私たちの気持ち。



いつも畑のお世話をしてくださっているのが、
アドバンスさんです。

色々な野菜やお花を季節ごとに植えて、私たちの目を
楽しませてくださっています。
スーパーでよく見るあんなものやこんなものが、
「えっ、こうやってなっているの!？」とビックリする
ことも少なくありません。
そして、それを見た子供達の感動してキラキラした目が
大好きです。

お芋など収穫の前ともなれば、毎週のように草引きや
手入れに来てくださいます。
収穫のプレッシャーを感じさせてしまってるのかなと。
申し訳ないです(笑)。
でも子供達にとっても大人の私たちにとっても、土に
触れる、外で大笑いする、虫にビックリする、何でも
ないような事が幸せだったりしますよね。

——いつも本当にありがとうございます。

上の写真は(グラジオラス)。
ボランティアの西さんのいちばん好きなお花。
つながりの畑にも植えています。

咲くのが今から楽しみです

